

おめでとう！！



1月15日、当日は晴天に恵まれ、古川君、館田君両名が晴れて、成人式を迎えました。2人とも初めて着るスーツにちょっと緊張気味・・・!!いつもと違う様相にうれしさも隠せないようでした。加茂公民館では、さらに学園では見られない程の緊張ぶりで、つい、トイレの回数も多くなりがちでしたが、無事に式を終えられました。大人としての第一歩を踏み出し、これからも立派な社会人として大きく羽ばたいてくれることでしょう。

職員紹介

指導員 早野 政明

私が、吉沢学園に勤務するようになり、早8カ月が過ぎました。初めのうちは、『園生とうまくコミュニケーションがとれるか?』と、正直言って複雑な気持ちでした。しかし、一緒に食事をしたり作業をしているうちにみんなの中に溶け込めることができました。これからも情熱的で指導力のある指導員を目指して、園生と共に頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。



編集後記

平成7年度も無事に終わり、今はみんなひとときの帰省に心を弾ませています。学園内外で初めての経験をした人や新しく自分の役割をこなしている人など少しずつ変化のみられる一年でした。これからも明るくのびのびとした学園生活を送れるようにしていきたいと思っております。

ききょうtimes No.25

1996.3.31 発行

発行：吉沢学園 〒290-05 千葉県市原市吉沢117番地 ☎0436-98-1562



園生と共に七ケ年

園長 林 華子

ききょうタイムスも、25号となりました。この間毎日一緒に暮していた御子様は欠けてしまわれ、それぞれの御家庭の生活はどう変化されましたか。「やっぱり家に置きたい」と退園された方、預けて助かった、預けて手がかからなくなり淋しい、地獄から天国という声が入園された頃は聞きました。今はどうですか・・・或の方が施設に入れない在宅者の事を考えて、「何年かたったら交替するようにしてほしい。」と言われました。皆さんはどうお答えくださいますか。

一方、園生の学園生活を顧みますと、7年の歳月は彼等を大きく成長させてくれました。入園当時、入浴と言うと大きな大佛様がズラリと並び職員は着物を脱がせ、洗い又着せて寮棟へ運ぶ。(連れていく)また食べ物は何でも口にかき込むため入りきれずポロポロこぼし、食事後はテーブルの上、下共にご飯やおかずが大量に散らかり、鶏をつれてきて拾ってもらった方が早いと言う状況が続きましたが、今は思い出のコマとして語れるようになりました。

平成8年7月からは、20名の増員が予定されています。又指導員の奮闘が続くことでしょう。保護者の皆様方には新しい人達と共に一層の御支援をお願い致します。